

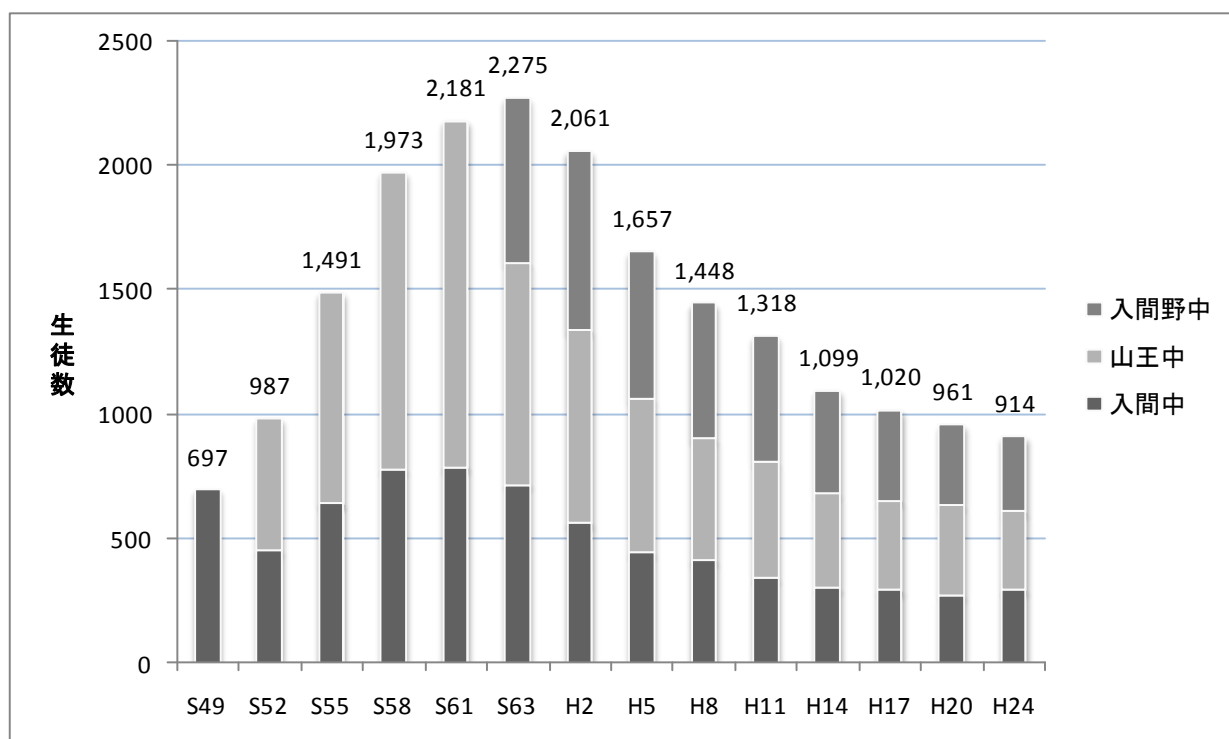
入曽地区の中学校を取り巻く状況

狭山市教育委員会では、学校の規模と配置の適正化を図ることにより、教育環境のより一層の充実を目指しています。

狭山市教育委員会が策定した「狭山市立小・中学校の規模と配置の適正化に関する基本方針」では、地区ごとに統廃合の検討が必要な学校数を示しており、入曽地区については、適正な中学校の数を2校としています。

(1) 生徒数の推移

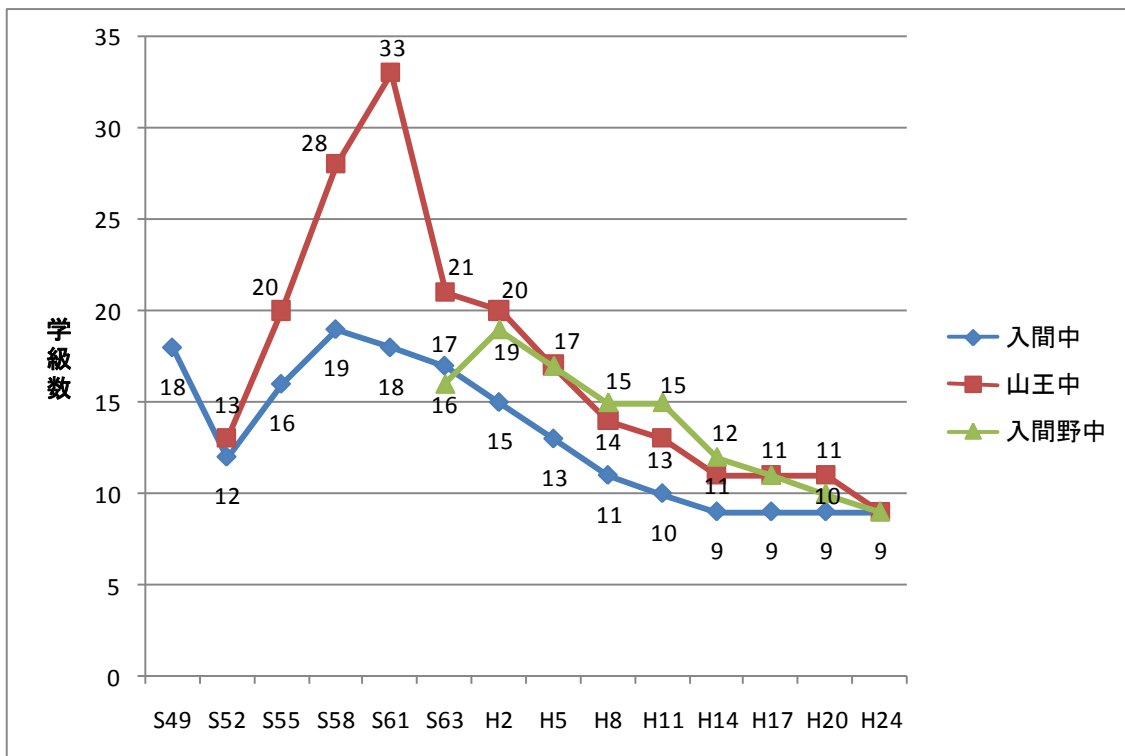
入曽地区の中学校の生徒数は、昭和63年をピークに減少傾向にあり、現在はピーク時に比べて約60%減少しています。



注) 特別支援学級の生徒数は含まれていない。

(2) 学級数の推移

入曽地区に3校ある中学校は、ここ数年は適正規模（12～18学級）を下回る状態が続いています。



注) 特別支援学級の数に含まれていない。

(3) 各校の概要

	山王中学校	入間野中学校
校舎建設年	昭和 52 年 (1977 年)	昭和 63 年 (1988 年)
校舎耐震補強工事	済 (平成 22 年)	不要 (新耐震基準※)
除湿温度保持工事 (冷暖房工事)	未済 (平成 27 年度工事予定)	済 (昭和 63 年)
敷地面積	31,885 m ²	24,114 m ²

※ 昭和56年の建築基準法（施行令）の改正により、現行の新耐震基準が施行された。新耐震基準の建物は、震度6強程度の地震でも建物が倒壊しない耐震性能となっている。